

地域の未来に貢献する。公明党

区議会第4回定例会における公明党の代表質問

本庁舎整備について

本庁舎整備は全面改築を前提に、工期やコストの削減には、仮設庁舎の確保が重要である。あらゆる可能性を排除せず検討すべき。

【答弁】仮設庁舎については世田谷4丁目公園予定地の一部を支援用地として活用することにした、今後も引き続き取り組む。

がん対策の基盤造りと相談体制

今後の在宅療養における地区の基盤づくりと緩和ケアへの体制整備をどう整えるのか、また相談体制の充実を図るべき。

【答弁】医療連携推進協議会等の場や「世田谷区がん対策推進委員会」を通じて検討を進める。

異文化交流の促進

姉妹都市交流を含めて、様々な観点から小・中学生へ交流の機会を創出していくべき。

【答弁】交流事業のあり方を検討する中で、議論を深め、議会とも情報共有を図り、その方向性を検討する。

地域包括ケアシステムの実効性

「生活支援体制整備事業」は社会福祉協議会への委託事業とされているが未だに成果が見えない、早急な改善を。

【答弁】地域包括ケアシステムを地区展開するにあたり三者連携の核としてまちづくりセンターを中心に展開していく。

保育待機児対策

今年度整備目標の達成度をどう見極めるのか、無認可保育施設利用者への更なる支援拡充をせよ。【答弁】整備計画数2211人に対して87%の1916人分の確保が予定されている、無認可保育施設への更なる支援については今後の申請状況を見極めて検討

2020年東京大会の産業政策

「観光地域づくり」を進めるのに、まちなか観光交流協会の要素や機能はどうか、またマーケティングやマネジメント機能の担い手はどこか。【答弁】更なる観光事業の組織強化を図り、今後は戦略的な観光事業を展開し、地域の活性化を図っていく。

今後の教育政策

図書館の民営化、幼児教育センター機能の先行実施など具体的な推進方針を示せ。【答弁】学校図書館も含めて民間活用の形態を推進し、今後も計画的に推進する。幼児教育は人格形成の基礎を培う大切な教育だ。区の特徴を踏まえた取り組みを検討する。

薬物乱用防止

薬物乱用防止については、意識啓発が足りていない、更なる強化策へ踏み出すべきと考える。

【答弁】東京都、警察署、薬剤師会等の関係からの情報を教育委員会と共有し、薬物乱用防止教室の充実に向け、連携して取り組む。

運転免許の認知症対策

認知症に伴う対策について特に自動車運転免許自主返納等についての誘導策を講じるべき。【答弁】区では「物忘れチェック相談会」を実施し早期発見、早期治療につなげている、今後も関係機関が連携して高齢者の交通事故の未然防止に努める。